

## 第48回滋賀県芸術文化祭 第68回滋賀県文学祭入賞者一覧

### 小説

賞	題名	氏名(筆名)	住所	副賞
芸術文化祭賞	飛鳥の流星	安積 こう	長浜市	
特選	京みやげ	潮田 真結実	米原市	滋賀県議会議長賞
特選	空蟬の島	川島 謙介	近江八幡市	NHK 大津放送局長賞
特選	アヒル小屋だより	佐藤 水楊	草津市	
特選	哀蛾抄	佐藤 駿司	大津市	
特選	冷笑の対価	高山 清子	長浜市	
特選	ヨウコソ来マセシ	中井 善寿	大津市	
特選	繋ぐ	飯田 勝良	大津市	

### 随筆

賞	題名	氏名(筆名)	住所	副賞
芸術文化祭賞	五百円玉に映る心	榊原 洋子	大津市	
特選	眉	山森 ふさ子	大津市	滋賀県教育委員会教育長賞
特選	義母が残してくれたもの	上野 初子	犬上郡甲良町	毎日新聞社賞
特選	ぱぱさん、だいじょぶう？	佐藤 駿司	大津市	
特選	急がば廻れ	寺井 一二三	草津市	
特選	どっこい現役です！！	仲谷 文夫	守山市	
特選	口紅を掘る	松本 佐知子	甲賀市	
特選	手打ち蕎麦屋顛末記	黒川 一美	甲賀市	
特選	竹生島	小島 久喜	彦根市	

### 詩

賞	題名	氏名(筆名)	住所	副賞
芸術文化祭賞	円卓	島田 照世	大津市	
特選	顔	高森 康介	米原市	びわ湖芸術文化財団理事長賞
特選	身辺つれづれの記	成田 あかり	湖南市	読売新聞社賞
特選	風の贈り物	前川 利孝	東近江市	
特選	雪ちゃんになりたくて	谷口 明美	彦根市	

### 作詞

賞	題名	氏名(筆名)	住所	副賞
芸術文化祭賞	拾いました恋心	いとう かおる	栗東市	
特選	よひら	叶 恋	蒲生郡日野町	エフエム滋賀賞
特選	さすらいロンリーボーイ	村齋 英彦	大津市	

## 短歌

賞	作品	氏名(筆名)	住所	副賞
芸術文化祭賞	信長の激しさ継ぎて奇祭たり左義長の山車生命滾らす 山車と山車荒波のごとぶつかりぬ男(お)の闘争心むき出しにして 今一度会ってみたくて探してみる私のヒーロー古き書棚に	平居 玲子	近江八幡市	
特選	おさな時(じ)の祖父母の思い出語る君八十路の今も清らなままに 「爺坊(じいぼう)ちゃん」「ムッティ」などと呼びあいて日々進みゆく老いと戯る リーベちゃんと我(わ)を呼ぶ八十路の君に添い夏の名残の線香花火	手塚 美佐子	大津市	京都新聞賞
特選	ブルドーザーのような甲虫が出現す絵日記帳の八月半ば まるやかなジーンズの腰はまりいて果つることなし少女のケータイ 明日ひらく朝顔のつぼみ数えいる少女は登校拒否の子ときく	山中 伸江	大津市	BBC びわ湖放送賞
特選	大鋤の二丁並びて赤錆びぬ亡夫(つま)と汗せし遠き日のあり 伐られたる杉の年輪かぞえつつ逝きし夫との隔りおもう 鈴鹿嶺を越え来し風の心地よし伐られし杉の古株にいこう	村岸 千鶴子	犬上郡甲良町	
特選	大病もなく元気ですとう年賀状 兄の遺品となりたる睦月 話すこと好きな人だったとう兄はかの戦災の多くは語らず 水色のセーラー服を着ていた日 玉音放送の空も青かった	布留川 明子	大津市	
特選	世のために尽力したる覚えなくせめてこの身で役立たん 死後 事件 事故で死んではならぬ献体の前に解剖されてはならぬ 献体を成し遂げたらば楽しみは比叡の山の共同の墓地	寺下 吉則(吉:土 +口)	近江八幡市	
特選	日溜りに「ひとり」と不意にもらしたり 聞こえしか妻 柿落つる音 蟋蟀の声が言葉に聞こえると話さぬわれにすり寄れる妻 盆を過ぎつくつく法師が鳴いてゐる 今日を静かに流るる大気	幅尾 茂隆	甲賀市	
特選	石積みの多羅尾代官屋敷跡黄葉(もみじ)のきらめき今を昔に 藤房の雨の雫は紫の花粒となり煌めきつ垂(た)る 子育てのボランティア終へし日の夢に出で来る子等の笑顔・えがお	山路 香苗	甲賀市	
特選	奥余呉の庄屋跡とぞ崩れたる土塀を覆ふむぐら勢ひて 古民家の高き天井太き梁カフェに変わる北国街道 背を向けて涙拭ひし若き日の母の葛藤知らず聞かざる	樋口 満智子	長浜市	
特選	「いのち・百」父の命の欲しかった 数ふる子らと来し五十年 お嫁さんに行っては困ると六歳の子の声今に薬の田に 余部(あまるべ)にこころ繋ぐる一人なく墓石に並び海の音聞く	大西 幸	湖南市	
特選	カルピスとコーラを混ぜて飲んでいて渡り廊下に黒の稲妻 二回目の酉年がきて僕はまだ飛び立つ方向さえわからない 金星と木星がすれ違う夜週刊少年ジャンプを燃やす	北側 卓磨	守山市	

## 俳句

賞	作品	氏名(筆名)	住所	副賞
芸術文化祭賞	母の日や赤子に戻る母抱く	尾崎 恵子	大津市	
特選	飽きられてふらここ二つ揺れてをり	勝又 千恵子	彦根市	中日新聞社賞
特選	噴水の己が限界知りて散る	福山 幸雄	東近江市	共同通信社賞
特選	刈草の匂へる母を誇りけり	田中 美由紀	甲賀市	
特選	身に入むや墓碑より消えし朱の文字	大崎 守	守山市	
特選	帰省子や母へ安堵の嘘ひとつ	音羽 豊	長浜市	
特選	蚊遣火の渦も半ばや帰り待つ	吉田 邦子	草津市	
特選	人生に定年なしとおどる人	宮崎 正子	大津市	
特選	鼓動まで透けて白魚嘘つけず	水口 となみ	大津市	
特選	あめんぼの脚みづうみを凹ませて	成宮 義雄	米原市	
特選	学園の紅の躑躅に燃ゆ未来	福原 芳江	彦根市	
特選	蝉時雨これ百僧の諷経かな	岩田 宣清	大津市	
特選	帰省して僧とし父に随ひぬ	伊藤 薫	大津市	
特選	おでん鍋具の窮屈に炊きあがる	島田 喜代子	大津市	

## 川柳

賞	作品	氏名(筆名)	住所	副賞
芸術文化祭賞	淋しさを抜けた水ですうたってる	今井 和子	東近江市	
特選	スカーフをふわり もうひとりのわたし	なかむら せつこ	奈良市	時事通信社賞
特選	水に戻すとわたしだとわかります	安井 茂樹	大津市	KBS 京都賞
特選	水をやるいつもの花が咲くように	金子 純子	大津市	
特選	赤ちゃんのどこを押しても水の音	神田 良子	大阪市	
特選	ちぐはぐが続くふわりをつきながら	川村 美栄子	彦根市	

## 冠句

賞	作品	氏名(筆名)	住所	副賞
芸術文化祭賞	像ゆれる 穏やかならぬ虚夢ひとつ	小森 和美	蒲生郡竜王町	
特選	泡沫よ 蕾のままで散る無情	松本 静江	野洲市	朝日新聞社賞
特選	像ゆれる まだ細すぎる自画の線	宮田 美津子	高島市	産経新聞社賞
特選	泡沫よ 瀬音に秋の調べ汲む	中嶋 大陸	近江八幡市	
特選	朝の音 ラインが動く人動く	喜友	長浜市	